

令和3年12月9日
秋田地方気象台

初氷を観測

12月9日、秋田地方気象台にて、初氷を観測しました。

平年より 20 日 遅く（平年は、11月19日）、
昨年より 4 日 遅い（昨年は、12月 5日）観測です。

秋田地方気象台では、1925年（大正14年）から初氷を観測しています。
これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。（本年はこれまでの一番遅い記録と並んでいます。）

一番早い記録（最早）：1939年（昭和14年）10月18日
一番遅い記録（最晩）：2004年（平成16年）12月 9日

（参考）

<初氷の定義>

秋から冬にかけて初めて水面に氷がはることを観測した日を指します。

<本年の初霜について>

0cm以上の積雪により霜の有無を確認できないと判断した場合は欠測することとしており、12月2日に秋田地方気象台にて露場の半分以上が積雪に覆われて積雪状態となったため、今年度の初霜は欠測としました。

この件に関するお問い合わせ先

気象情報官 野口
電話番号 018-823-8291